

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	カオス・ブラック	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.480	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：カオス・ブラック

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

番

研磨剤

比較対照ボール：カオス

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

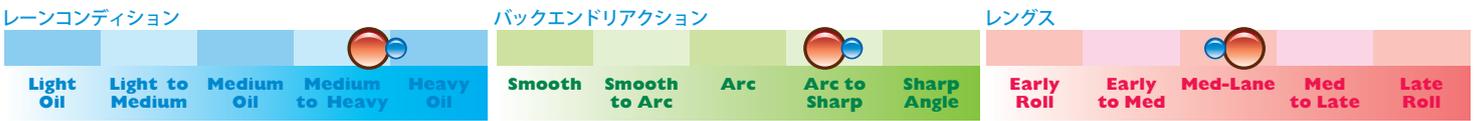
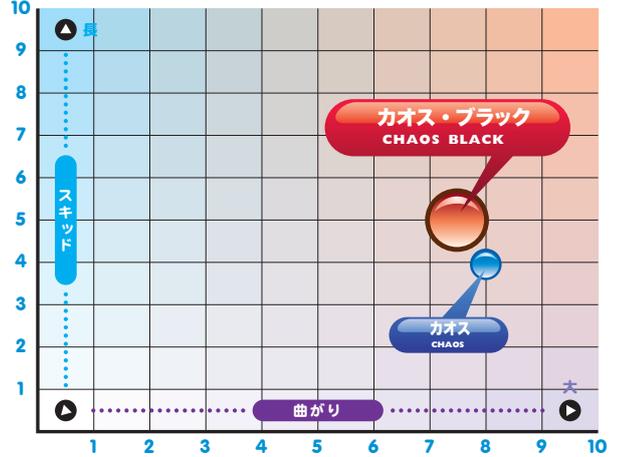
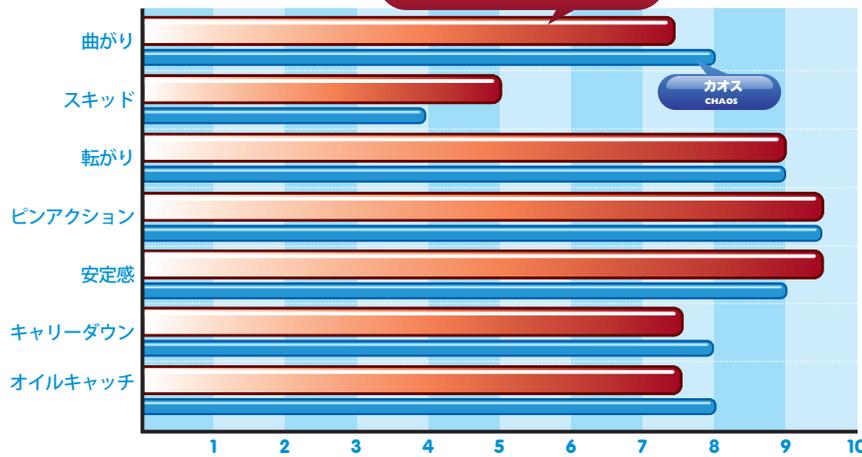
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

今年の5月下旬、コロンビア300が生まれ変わる表明と共にその先がけとしてインターナショナル製品のMOVEMENTが発売されました。そのMOVEMENTは発売と同時に大量入荷にもかかわらず完売。投球者からは今までコロンビア社にはないスキッドとキャッチのバランスの良さとコロンビア300の代名詞にもなっているHyper shock Technologyによって、概念を変えるボールという評価を得られています。今回発売するCHAOS BLACKは前作CHAOSからの2作目のモデルですが、MOVEMENTのカバーストック形成における添加物配合と触媒利率をもとに調合されたリアクティブ素材を採用させており、いままでのコロンビア社のおせる性能領域を遥かに上回る、キャッチの中にも走り感を出し、メリハリがあるリアクションがだせる領域も作れるようになりました。コロンビア社の「コントロールできる扱いやすさ」のイメージも活かしつつ、先でしっかり動くボールも作る。コロンビア300からはこの先目が離せません。

今回のCHAOS BLACKはEXCITER ReactiveのHybridからSolidへと変わりました。前記の通りSolid Reactiveでも「動かせる」リアクティブに変更された素材は、独特な柔軟性とウエット感と食いつきのあるリアクティブをもとにポリッシングしたもので、Mid-Laneで積極的に一番目の曲がり始めが見えます。これはいままでのコロンビア社の良い部分です。そこから曲がり衰えるどころか柔らかく且つ攻撃的にキレてくる曲がりのイメージはオイルに対しての安定感とピンに対しての攻撃性両方を兼ね備えているボールだと思います。Mid-Laneで曲がり始めるボールの殆どが曲がり持続できず入射角も甘くなる傾向が高くなる中、ここまで動きに連動性があるボールは、素材自体に変化を起こさなければ踏み込めない領域です。MOVEMENT同様、投げれば今のコロンビア300の性能が分かるほど進化したCHAOSです。

特記事項

MOVEMENT以降、素材自体が変わり全く違ったメーカーと思わせるほど幅広い領域を賄えるようになったコロンビア300代名詞のHyper shock Technologyが全製品混入されることで、一気にシェアは広がっています。